

# 公安委員会定例会議(第23回)の開催状況

- 第1 日時 令和5年9月13日(水)  
午後2時03分 ～ 午後4時20分
- 第2 出席者 五葉委員長、佐伯委員、小野委員  
本部長、総務室長、警務部長、首席監察官、生活安全部長  
交通部長、警備部長、警察学校長、情報通信部長  
刑事企画課長、総務課長

## 第3 議事の概要

### 1 佐伯委員説示

本日は、臨床心理士である東畑開人氏の著書「聞く技術、聞いてもらう技術」に出てくる孤独と孤立の違いを御紹介します。

孤独と孤立は同じような意味に思えますが全く違うものです。孤独は「心の世界に自分1人がいる。鍵のかかる部屋で外からの侵入者に怯えることなく、寂しくても他人に煩わされず自分のことを振り返ることができる。つまり安心感のある状態」であるのに対し、孤立は「心の世界に嫌いな人、怖い人、悪い人が出入りしており、自分は周囲から馬鹿にされている、嫌われている、自分なんかいない方がいいという声に常に責められている。つまり不安感のある状態」です。孤立する原因は、虐待やDV、いじめやハラスメント等の被害体験によって心の中に暴力的な他者を残してしまうことです。心の中に「1人であるか」「悪い他者が大勢いるか」、それが孤独と孤立の違いであり、孤独のときは人の話を聴く力を持つことができますが、孤立すると人の話を聴くことはできません。孤独には、仕事や友人、財産など、安定した現実が必要です。手厚い守りがあり、心が脅かされていないときに初めて心の個室「孤独」を手に入れることができるのです。

これを読んだとき、警察が孤独を創り出す最後の砦になるのではないかと思います。犯罪に遭遇したとき、警察署に行けば職員が相談に乗って助けてくれます。警察職員が存在することで、人は孤立することなく安心して1人で居ることができるのであり、警察の使命の大きさを感じました。

また、東畑氏は「つながりの連鎖が重要だ」とも述べています。上司が部下の文句を受け止めるには、上司は話を聴いてくれる誰かを持つことが必要で、その誰かも話を聴いてくれる別の誰かが必要です。聴いてもらえるから聴くことができる。自分の話を聴いてくれた人から「よく耐えたね。頑張っているね」と言ってもらえると本当に救われます。

「聴く」という行為には強い力があります。私も教員時代に不登校になった学生の親御さんから話を聴きましたが、じっくり話を聴くと親御さんは安心されます。子供さんが自然と学校に通えるようになったり、立ち直ったりしたケースもありました。人に話を聴いてもらえると人の話を聴く力が蘇り、良い結果を生むことがあります。愛媛県警察にあっても、職員の皆さんが聴くというつながりの連鎖を大事にして、内外を問わず孤立する人を救うことができる強い組織であってほしいと願っています。

## 2 決裁事項

### (1) 公安委員会定例会議の会議録

総務室から、令和5年第22回公安委員会定例会議の会議録について伺いがあり了承した。

### (2) 公安委員会宛て苦情の受理

総務室から、公安委員会宛て苦情の受理について伺いがあり了承した。

### (3) 公安委員会宛て苦情申出書に対する回答

総務室から、公安委員会宛て苦情申出書に対する回答について伺いがあり了承した。

### (4) 禁止命令等実施報告

生活安全部から、禁止命令等実施報告について伺いがあり了承した。

### (5) 警察職員等の援助要求

警備部から、警察職員等の援助要求について伺いがあり了承した。

### (6) 運転免許の行政処分に係る意見の聴取・聴聞

交通部から、運転免許の行政処分に係る意見の聴取及び聴聞結果について報告があり、審議の結果、18件の行政処分の決定について伺いがあり了承した。

## 3 報告事項

### (1) 令和5年「秋のプロムナードコンサート」開催予定

総務室長から、令和5年「秋のプロムナードコンサート」開催予定について報告があった。

委員から、「日頃の練習の成果を発揮して満足できる演奏を披露していただきたい」との発言があった。

委員から、「先日、県警察音楽隊のコンサートを拝聴したが、素晴らしい演奏で感動した。音楽隊の皆さんには楽しんで演奏していただきたい」との発言があった。

### (2) 合制服の運用停止

警務部長から、合制服の運用停止について報告があった。

委員から、「世間のクールビズの流れに沿った良い取組だと思う」との発言があった。

委員から、「最近の気候を考えると合制服の運用停止は合理的で良い取組だと思う」との発言があった。

委員から、「運用停止に伴う様々な効果が期待できる良い取組だと思うので進めていただきたい」との発言があった。

### (3) 令和5年愛媛県警察運営目標推進状況

警務部長から、令和5年愛媛県警察運営目標推進状況について報告があった。

委員から、「目標に向かって各部門がしっかりと業務に取り組み、良い結果が出ていると思う。下半期においても高い目標を持って業務に取り組んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「高い検挙率を達成しており頼もしい。他方、本年は刑法犯認知件数が増加している。新型コロナウイルス感染症が5類感染症に

移行したことに伴う人流の増加など様々な要因があると思うが、引き続き犯罪抑止に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「サイバー犯罪は悪質巧妙化している。事件化には様々な困難があると思うが、取締りを徹底していただきたい。また、伊方発電所や大規模集客施設等に対するテロ等違法行為の未然防止にもしっかりと取り組んでいただきたい」との発言があった。

(4) 令和5年「全国地域安全運動」の取組予定

生活安全部長から、令和5年「全国地域安全運動」の取組について報告があった。

委員から、「学校や自治体等と連携を深め、地域密着型の安全運動を今後も推進していただきたい」との発言があった。

委員から、「子供と女性の犯罪被害防止につながる取組であり非常にありがたい。こうした運動に興味を持つ子供たちも巻き込んで取組の輪を広げていただきたい」との発言があった。

委員から、「無施錠を狙った侵入窃盗被害の発生を憂慮している。広報等、注意喚起にも努めていただきたい」との発言があった。

(5) 令和5年「秋の全国交通安全運動」の実施

交通部長から、令和5年「秋の全国交通安全運動」の実施について報告があった。

委員から、「子供たちの安全を守るため、通学路等における速度取締り等を強化していただきたい」との発言があった。

委員から、「交通死亡事故がゼロになることを願っている。きめ細かな運動に取り組んで交通安全の機運を高めていただきたい」との発言があった。

委員から、「交通安全運動を展開することにより、幅広い世代に交通ルールや交通マナーの浸透を図っていただきたい」との発言があった。

(6) 初任科第184期卒業式の実施

警察学校長から、初任科第184期卒業式の実施について報告があった。

委員から、「厳しい入校生活だったと思うが、誰一人脱落することなく卒業を迎えることができたことは素晴らしい。今後の活躍を期待している」との発言があった。

委員から、「卒業式で立派に成長した初任科生に会えることを楽しみにしている」との発言があった。

(7) 令和5年上半期の情報技術解析課の活動状況

情報通信部長から、令和5年上半期の情報技術解析課の活動状況について報告があった。

委員から、「解析には大変な労力が伴うと思う。スマートフォン等を使った犯罪は今後ますます増加すると思われることから、更なる技術の向上に励んでいただきたい」との発言があった。

委員から、「スマートフォン等は便利な反面、「闇バイト」の募集など様々な犯罪に悪用されている側面もある。技術を磨いて犯罪抑止に努めていただきたい」との発言があった。

委員から、「解析には多大な労力を要すると思うが、解析技術の研鑽に努め、犯罪捜査等に生かしていただきたい」との発言があった。

#### 4 その他

本部長から、「委員説示のとおり、県警察は、孤立ではなく孤独、すなわち県民の心の安定に貢献できる存在として、また、職員に対しても安定を与えられる組織になれるように努力を続ける必要がある。その手段の一つとして、人との良いつながりを持つことが重要だとのお話をいただいたことを踏まえ、我々自身が今、どういうつながりを持っているのか、そしてそれをどう豊かにしていくのか、ということを考えるきっかけにしたい」との発言があった。

以 上